

自社株買い

1株あたりの利益増やす

今年に入って発表があった 主な自社株買い		
	金額 (億円)	発表 月
トヨタ	5,000	5月
ソフトバンク	5,000	2月
N T Tドコモ	5,000	1月
日産自	4,000	2月
N T T	3,500	5月
三菱UFJ	1,000	5月
KDDI	1,000	5月
新日鉄住金	1,000	2月
富士フイルム	500	4月
富士重	480	5月

(注)金額は発表時の取得価  
額総額の上限

から差し引き、1株あたり利益や自己資本利益率(ROE)を底上げする。消却は自社株が将来出回るリスクをなくすため、株価押し上げ効果もあるとされる。

▽：企業が発行した株式を自社で買い取ることを指す。消却などを目的とする自社株買いは1994年に解禁され、2001年には買い取った株式を手元に残す「金庫株」が可能になった。1株あたり利益を増やしたり、資本効率を高めた効果があり、株主還元の一環として実施する企業が増えている。

▽：株式の取得は取引時間中に市場価格で買い取る手法や、取引時問外に直近の終値などを参考にしている。

▽：自社株は株式交換によるM&A(合併・買収)などに備えた金庫株として利用され、当面の用途が見当たらない場合は消却するのが一般的だ。自社株は消却するしなにかかわらず発行済み株式総数から差し引き、1株あたり利益や自己資本利益率(ROE)を底上げする。消却は自社株が将来出回るリスクをなくすため、株価押し上げ効果もあるとされる。

2016/10/15 2 およぶの 10/15

日経 10/14

2016/10/15 2  
出光昭和シェル  
合併調整に期待

経産相

世耕弘成経済産業相は14日の閣議後の記者会見で、出光興産と昭和シェル石油の合併延期について「石油の需要が通減するなかで、経営統合はしっかり進めないといけない」と述べ、合併に反対する出光創業家との調整に期待を示した。

両社は13日に来年4月に予定していた合併時期を延期すると発表し、変更後の時期は「未定」とした。世耕氏は「両社の経営陣から経営統合の方針が微動だにしないと強く表明されており、成り行きを

毎日 10/15

述べて、合併に反対する出光創業家との調整に期待を示した。

貧困の苦しみ知る必要がある

小学生 福永 愛凜12 (福岡県粕屋町)

世界には貧困に苦しんでいる子供たちがたくさんいます。今の私たち、子供も大人も貧困について知る必要があります。私は貧困についてインターネットで調べてみました。それは予想以上にひどく、厳しい現状におかれています。かわいそうなお困りの子供の写真がたくさんあり、あまりのひどさに涙がでそうでした。

家もなく路上に座りこんで生活している子供、食べ物がなくガリガリにやせ細っている子供、血を流して亡くなっている何人もの子供たちがいます。

世界には貧困に苦しんでいる子供たちがたくさんいます。今の私たち、子供も大人も貧困について知る必要があります。私は貧困についてインターネットで調べてみました。それは予想以上にひどく、厳しい現状におかれています。かわいそうなお困りの子供の写真がたくさんあり、あまりのひどさに涙がでそうでした。

自分たちが楽しくくらべていることに感謝しなければなりません。そして世界に貧困に苦しむ子供たちがいることを知っておくことが大切だと思います。

毎日 10/3

[米大統領選]

# 史上最低コンビの戦い

## 濱矩子の 危機の真相



### ア

アメリカ大統領選史上、最低の人気を誇る。この不名誉をほしいままにする2人が、第45代大統領の座を争っている。投票日は11月8日に迫った。

それにしてはひどい。低人気もさきながら、低見識がいかに目に余る。かたや、口を開けば差別と侮蔑といいかげん発言しか出てこない超軽薄オヤジ。かたや、口を開くたびにウソが飛び出すとレッテルを貼られてしまった隠蔽オバサン。これが、本当にアメリカにおける行政の最高責任者を決める選挙の候補たちなのか。この人たちしかいなかったのか？ もう少し、何とかならなかったのか？ アメリカ政治の日本化をみる気がする。そもそも、こんなふうには言いたくなる日本の政治状況こそ、何とも情けない。だが、感じてしまうことは致し方ない。

それはさておき、なぜ、こういうことになるのか。そこには、二つの問題があるように思う。一に、アメリカの知性の荒廃。そして二に、その魂の弱体化である。

ドナルド・トランプ支持層には、移民嫌いの白人低所得者、いわゆる「プア・ホワイト」

が多い。それは事実だ。だが、それだけではない。結構な高学歴・高所得を誇るビジネスエリートたちが、存外にとらな的な弱肉強食論を支持しているらしい。既得権益の正当化のためなら、無神経な罵詈雑言男を大統領にしてもいいと思う。そこに知性のすたれぶりを感ぜざるを得ない。

共和党の重鎮たちが、今になって、トランプ不支持を相次いで表明している。それくらいなら、なぜ、もっと早い段階で、彼が泡沫から主流へとなだれ込んで行く動きを阻止しようとしなかったのか。彼らの魂は力を失っている。

民主側では、バーニー・サンダースという人が「大統領候補の候補」として出現した。彼は民主社会主義を標

榜してはばからなかった。アメリカの政治家としては、実に珍しい存在だった。だが、その彼が一躍、人気者になった。民主党支持者たちの中には、今なおサンダース氏を求めて熱狂する人々が少なくない。彼らは、ヒラリー・クリントン氏を自分たちの大統領候補として認知したからでない。

サンダース人気の中に、つかのまとはいえ、多少とも変化を求める知性と魂が躍動した面があったといえるだろう。だが、最終的に彼らを選んだ大統領候補に、清廉な知性や熱き魂が感じられるか。ついに初の女性アメリカ大統領が出現するかもしれない。

その可能性に、人々の思いが沸く様子は伝わってこない。それだけ、選ぶ方にも選ばれる方にも、知的弛緩と魂の空洞化が広がってしまったのだろうか。

に、歴代アメリカ大統領の名言集というものがある。今の大統領候補を念頭におきつつ、それらを探索してみた。すると、次の一連のお言葉群が目にとまった。



中傷合戦となった米大統領選の討論会11月9日、ロイター

「いずれの国といえども、

他の国に対して審判を下してはならない」(第28代大統領ウッドロー・ウィルソン)「専制と弾圧がこの国に出現することがあるとすれば、それは敵国と戦うという口実のかくれみのをまもつてのことだろう」(第4代大統領ジェームズ・マディソン)

これらの言葉は、トランプ氏を評して発せられたもののように聞こえる。仮想敵を立てて人々の憎しみをあおる。そのことを通じて、自分の支配力を高めようとする。そんな不心得者への先人たちの警告だ。力強い魂と賢き知性が生み出した言葉だ。

「気骨あるまともな人間なら、誰でも自分の信念を貫き通す。だが、それよりもほんの少し立派な人間でなければ、ただちに、そして惜しみなく自分の過ちを認めることはできない」(第7代大統領アンドリュー・ジャクソン)

民主党のクリントン氏に聞かせたい言葉だ。これをいえる知性は磨き抜かれている。これを指摘する魂に軟弱さはない。

過ちを認める勇氣。責任者にこれが欠如していたばかりに、歴史上、どんなに多くの悲劇が起ってきたことか。

どんなにさまざまな大惨事が発生してきたことか。クリントン氏向けには、もっと、単刀直入な多言もある。「正直こそ、賢者の本の第1章だ」(第3代大統領トーマス・ジェファソン)

そして、両候補とも大いに耳を傾けるべきは、第9代大統領、ウィリアム・ヘンリー・ハリソンの言葉だ。「制約なき権力ほど、最も高貴で最も高き人間性を最も腐敗させ、最も破壊するものはない」

両候補とも、いずれ劣らず権力志向が旺盛そうだ。そんな2人には、大先輩のこの訓示が実に貴重だ。いつも目に見えるところに、張り付けておいた方がいいだろう。

### 世

第23代大統領ベンジャミン・ハリソンが次のように言った。「生地をつくる職人が飢え死にする。そこまで安価なコートが必要とする人々は哀れだ」。そんな人々がいらない社会。それをサンダース氏が追求していた。今の大統領候補に、この言葉の意味がわかるか。それを受け止める知と魂が備わっているか。

2016.10.15  
はま・のりこ 同志社大教授。次回は11月19日に掲載します。